

整備された町道0107号線(役場前)

農林水産業費

2億8千万円

農業基盤整備事業として、木戸地区で湛水防除事業、橋場と小川台地区で排水対策事業を推進したほか、町内16団体が実施した用排水路等整備に補助しました。また、農業機械を購入した営農組合への助成や個人農家から刈取り作業等の受託を促進する農作業受託促進事業、町特産ネギの低農薬栽培を進めるため性フェロモン剤を使った害虫防除事業などを推進しました。

消防費

2億7千万円

地域防災体制の強化を図るため、防災行政無線親局の更新とバンザマストの増設工事を行いました。

また、中央分団第3部(西高野)で小型動力ポンプ積載車を、第5分団第4部(谷中)で小型動力ポンプ積載車を更新しました。

特別会計

国民健康保険

保険加入者の疾病、負傷、出産、死亡等に伴う保険給付や各種保健事業を行いました。

歳入は、国民健康保険税、国・県支出金、一般会計からの繰入金など11億8,918万円でした。歳出は保険者への医療給付費等が9億4,267万円で、1世帯当たりの年間平均給付費は37万1千円、1人当たりの給付額にすると14万2千円でした。保健事業はみなさんの健康の保持増進を図ることを目的とし、健康ウォーク大会や各種検診・健康教室などを行い、歳出総額では10億1,467万円でした。

食肉センター

と畜頭数は大動物・小動物とも前年度より増え、大動物が6千頭、小動物が14万2千頭で事業収入が前年度と比べ800万円増えました。また、人件費及び物件費等において抑制を図ったことなどから、3,500万円を積み立てました。なお、大動物施設の改修工事については計画どおり実施することが出来ました。

決算審査報告

代表監査委員 花澤 平
監査委員 鈴木 俊

平成11年度光町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算について、各会計の決算書並びに添付された関係書類に基づき、各会計歳入歳出帳簿及び証拠書類を照合審査した結果、各会計とも決算計数は正確であることを確認しました。また、事務事業の執行状況は、各会計とも目的に沿って適正に執行され、その処理方法も適正であり、財産管理も適正に行われ、基金の運用についても適正かつ効果的に行われていることを確認しました。

衛生費

6億8千万円

健康の維持と病気の予防・早期発見のための健康診査、相談指導等を行うなど健康管理事業の充実を図りました。

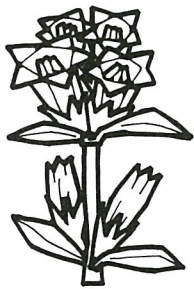
また、生活雑排水対策では宮内と小田部地区が実施した生活雑排水事業に対する補助や、合併浄化槽の設置に補助したほか、ダイオキシシン対策として生ゴミ堆肥化容器設置事業を新たに実施しました。

土木費

4億4千万円

生活道路の整備として、町道0102号線(傍示戸)、町道0106号線スクールライン(原方)、町道0107号線(役場前)などの整備、町道0207号線(小田部)災害防除のほか、交通安全施設整備、道路排水路整備などの事業を行いました。

また、ゆとりと秩序あるまちづくりを進めていくための都市計画を定める準備を行いました。



老人保健

70歳以上の人と65歳以上の障害のある人を対象に医療給付を行いました。

歳入は、支払基金交付金、国・県支出金、一般会計からの繰入金など10億3,375万円で歳出は老人医療費など10億2,203万円でした。